

第3部 恵まれない子供たちと共に (9)村人にきれいな水を

文責
平和教育マスター
新井 榮



村の人たちの善意で、3人の子たちは手に職を付け自立することができました。

また、私自身も村人との交流が増えると共に良い関係もできました。特に、センターの近くにある派出所を会場としての交流ですが、ここでは乾季になると月に2～3回は村の有志が集まり、飲み会をします。ここは毎日通う道路添えにあるのですが、そこを通る度に寄って行けと言ってくれるのです。バイクで町との行き来していることを知っっているながら駐在所の人が飲み会に誘うのです。何とも「のどか」と言うか日本では考えられないようなことが平然と行われているそんな所です。

無下に断ることもできず、3回に一度はビール(350 ミリ 24 缶箱詰め)を持参で参加し皆さんと親しくなっていたのです。そのお陰で、以前は多額の賄賂と発行までに1か月以上待たなければならなかった推薦状や確認証も、快く直ぐに発行してもらえるようになるなど、村人たちの善意に本当に助けられていたのです。その善意に報いるため、村人にきれいな水を送ることにしました。この当時現地では、2万円ほどでポンプを付けてくれる所がありました。早速会員の皆さんにお願いし、村人にきれいな水を送る支援活動をしてもらいました。間もなく十数本の善意が寄せられたとのことです。このポンプ1本で5、6軒の人たち、二十数人がきれいな水を使うことができます。今回送られた皆さんの善意でおよそ300人近い村人たちが、きれいな水の恩恵を受けることができるようになったのです。しかし、ポンプを使うのが初めてという人たちです。一度の説明ではなかなか理解してくれません。それで1か月に一度ポンプの利用状態等を見守ることにしました。見回りに行くと、村人たちはとても温かく迎えてくれます。

これはある村に見回りに行った時のことです。私が行くとすぐにお母さんが大きな鍋で煮物を作り始めました。点検を終えて帰ろうとすると、出来たので食べていけとのことです。出されたのは何と、蛇のぶつ切りを入れた野菜鍋でした。善意を無にすることもできず恐る恐る口にしましたが、蛇だと思ふとなかなか喉を通りません。無理して食べたせいか、いまだにこの時の蛇鍋の味を思い出すことができないのです。しかし、後で分かったことですがこの蛇鍋は村人にとっては、大変なご馳走だそうです。もっと味わって食べればよかったと後悔しきり…(残念)



公民館図書室

開室日 毎週火～日曜日 9時～17時

☎ 早来:22-3224、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

【早来公民館】

- 〈一般書〉北海道大人の日帰りスポット480(花岡 俊吾)／いつか旅してみたい花と雑貨でめぐるヨーロッパ(パイインターナショナル)／80歳の壁(和田 秀樹)／越境捜査 流転(笹本 稜平)／ついでにジェントルマン(柚木 麻子)
 〈児童書〉食べて始まる食卓のホネ探検 ゲッチョ先生のホネコレクション(盛口 満)／学校が大好きアクバルくん(長倉 洋海)／わたしのかぞくみんなのかぞく(サラ・オレアリー)／くだものずかん(大森 裕子)／大人になるまでに読みたい15歳のエッセイ(和合 亮一)

【追分公民館】

- 〈一般書〉アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？ これからの経済と女性の話(カトリーン・マルサル)／共有地をつくる わたしの「実践私有批判」(平川 克美)／私たちはなぜ有機農業を選ぶのか(北海道有機農業組合)／庭とエスキース(奥山 淳志)／田辺聖子十八歳の日の記録(田辺 聖子)
 〈児童書〉生きのびるための「失敗」入門(雨宮 処凛)／伝え守るアイヌ三世代の物語(宇井 眞紀子)／虹いろ図書館のかいじゅうたち(櫻井 とりお)／えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日(松岡 享子 原案・文 降矢 なな 文・絵)／おばけのジョージ(ロバート・ブライト)

今月の展示テーマ

『わたしを野球に連れてって！』

ファイターズとのコラボ企画の夏が来た！観客が入って観戦できるようになったプロ野球。BIGBOSSがやって来たファイターズを、本を読んで応援しよう！野球の本、野球をテーマにした小説などを展示します。自由研究や夏休みの読書にオススメの本も展示します。また「平和を考える本」もあります。ご利用ください。

◆ 読み聞かせ 8月日程 ◆

	日 時	場 所
読み聞かせ ありんこ会	8月20日(土)10時30分～	早来公民館図書室
ブックスタート読み聞かせボランティア 赤ずきん	8月31日(水)11時00分～	おいわけ子ども園子育て支援センター